

Recruiting New Members !

新入会員募集中!



Q&A

Q 経営者ではないのですが入会することはできますか?
A 経営者だけの団体ではありません。福島のまちづくりやひとりひとりに情熱的に取り組む熱意があれば経営者でなくても大丈夫です。

Q 女性でも活動はできますか?
A 「明るい豊かな社会」を実現するには女性の力も不可欠です。「福島でも女性会員が積極的に活動しておりますので是非とも入会して活躍してください。」

Q 仕事忙しいのですが活動は両立できますか?
A 「福島では社業も活動も両立しているメンバーが沢山います。是非とも効率のよい時間の使い方を学び社業にも活かしてください。」

Q どのくらい参加しなければいけませんか?
A 役職にもよりますが、基本的には委員会と例会が毎月1回ずつになります。その他には各委員会の事業がありますのでそちらに参加して活動いたします。

Q お金のかかるイメージがあります。
A 入会金・年会費の他には各種大会の参加費や登録費がございます。会議や事業の終了後に懇親会等もございますが、強制ではないので、無理のないようにご参加ください。

Q 独立したばかりの個人事業ですが、参加できますか?
A 個人事業の方もご参加いただけます。他業種の自営業の方や、同業種の経営者の先輩など、活動しながら、新たな出会いも期待できます。

福島青年会議所にご入会までの流れ

01

まずはご相談を!

担当者が活動内容や、入会までの手順や疑問にお答えいたします。

02

理事会を見学

見学の際に簡単な申込書(仮入会申込書と誓約書)のご提出がございます。

03

最長6ヶ月の仮入会員を体験

毎月1回の委員会や例会、様々な事業に実際にご参加し、体験してみてください。

04

正会員!

仮入会期間を終えると、いつでも正会員として活動できるようになります。



入会に当たって

入会資格

- 入会時に年齢が20-37歳であること。
- 自宅住所若しくは勤務地が福島市又は川俣町であること。
- 健全な社会人としての教養と良識のある方で、正常な事業に従事していること。
- 青年会議所の目的と意義に共鳴し、自発的な意志と情熱を持っていること。

入会にかかる費用

- 入会金 50,000円(入会時のみ)
 - 年会費 150,000円(在籍年毎年)
- ※但し、年度途中の入会者の会費は入会を認証された月より月割りにてご請求いたします。

JC 入会金及び年会費の税務上の取り扱いについて

- 公益社団法人福島青年会議所はその活動内容から、社交団体ではなく研修団体として取り扱われ、入会金及び年会費は、法人税務上研修費として損金処理することができます。ただし、活動終了後の懇親会費は交際費となります。

入会をお考えの皆様へ ※より詳細な活動情報や入会手続については、下記の連絡先にお問い合わせください。

<< 公益社団法人 福島青年会議所 >> 〒960-8041 福島県福島市大町 2-5
TEL : 024-521-1635 (月~金曜日 10時~17時) FAX : 024-505-0115



福島青年会議所
詳しくはこちら

公益社団法人 福島青年会議所
Junior Chamber International FUKUSHIMA



Since 1963

集え、若き獅子たちよ

福島青年会議所は、地域社会と国家の健全な発展を目指し、会員相互の信頼のもとに資質の向上と啓発に努めるとともに、国際的理解を深め国家及び世界の平和と繁栄に寄与することを目的として、1963年（昭和38年）7月27日に設立されました。

The Creed of Junior Chamber International

We Believe

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;
That government should be of laws rather than of men ;
That earth's great treasure lies in human personality ;
and That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities that empower young people to create positive change.
青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.
青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

2023

令和5年

60th

前へ！

～感謝を込めて、新しい一歩を～

2013

平成25年

50th

継承、そして進化

～50の情熱を、未来へ～

公益法人格取得

記念式典・絆感謝祭の開催

第1回暁まいり福男福女競走の開催

福島未来構想パネルディスカッションの開催

わらしっ子塾～キッズニアで職業体験～の開催

第1回信夫山パークランニングレースの開催

2003

平成15年

40th

夢と信念を持って

輝け Jaycee!

記念事業「記念式典・歌談の会」の開催

「開花来馬宣言」パレードの開催

福島JC天年SUN組の体験学習の開催

「相馬・福島・米沢」地域連携フォーラムの開催

創立40周年セミナーの開催

1993

平成5年

30th

未来を創る心で夢育む

ひとづくり まちづくり

第23回福島ブロック会員大会の主管

記念式典の開催

「もったいないフェスティバル」の開催

記念誌「変わらない空変わるふるさと」の作成

JCニュース特大号の発行

1983

昭和58年

20th

21世紀へ向けて創ろう

“地域”の連帯

'83福島県「若者祭」参加

福島JC20周年記念大運動会の開催

記念式典の開催

記念事業「武道体験入門」の開催

子供ジャンボリーの開催

20周年記念 NHK 交響楽団演奏会の開催

献血協力・花火大会の開催

1973

昭和48年

10th

次なる10年に向かって

意義ある一歩を踏み出そう

グリーンラット計画

台湾南投児童作品展の開催

帰省客に交通安全を呼びかける

ヤクルト5,000本配布

10周年記念式典の開催

1964

昭和39年

1st

集え、若き獅子たちよ

認認証伝達式

県下JC野球大会に優勝

警察署へ黄色い小旗贈呈

献血運動に全員参加

Our History

事業構築

公益社団法人福島青年会議所が事業を実施するまでには、様々な会議において、積極的な議論を重ね、審査や審議を通して進められます。多業種、多様性に富んだメンバーで構成される本会だからこそ、多角的な視点で事業が構築されます。



1ヶ月間で委員会、財政審査会議、正副理事長会議、理事会を開催し協議を重ね、2ヶ月間協議した計画を審議します！

理事長所信

ふくしまの発展と、明るい豊かな社会を実現するために、理事長が1年間でどのような事業を実施していくのかを、所信として表明します。

事業計画

理事長所信に基づき、事業が計画されます。

委員会

委員会を開催し、事業計画を具体化させます。

財政審査会議

財政などを確認し、理事会に上程できる事業計画が審査します。

理事会

理事メンバー全員で、事業計画の協議、審議を行います。

事業開催

同時に ... 事業実施の準備

事業計画のブラッシュアップと並行して、事業に向けた準備も進めていきます。

ひとづくり事業

「わらしっ子塾」などを通して、これまでに2000名以上の地域の子どもたちへ郷土の歴史と伝統、職業体験、自然とのふれあい、スポーツを通しての交流などを行い、子供たちの思考の幅を広げる青少年育成事業を実施しています。

わんぱく相撲大会は1977年に初めて開催され、相撲を通じて「礼儀・努力・思いやり」といった社会生活の中で大切なことを子供たちに学んでもらうことを目的とした伝統ある事業です。国技館の土俵に立てるといふ大きな目標と感動を与えるだけでなく、心身の鍛錬と健康の増進を通じて、一貫して地域社会に貢献してまいりました。

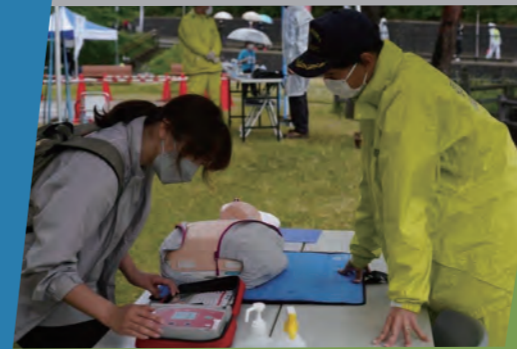
わんぱく相撲福島県北場所



プログラミング教室



防災事業



まちづくり事業

福島市の象徴である信夫山の魅力を全国へ発信し、観光地としての福島をPRすることを目的に、近年注目されているトレイルランニングとシティマラソンを融合した全く新しい「パークランニングレース」を開催しています。福島県出身のマウンテンプレイヤー 眞船孝道氏監修により信夫山の魅力を最大限に引き出すコースとなっています。

また、市民の郷土愛を育み観光地福島としての「自然」を計画的に創造するために、植樹事業を同日に開催しています。

学生アイデアコンテスト



わらしっ子塾 サマーキャンプ



信夫山パークランニングレース



事業紹介

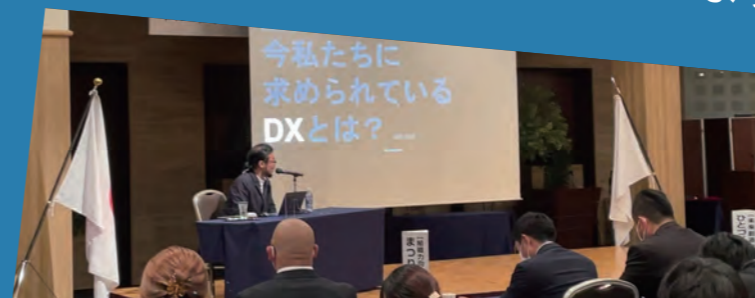
公益社団法人福島青年会議所は、福島のみならず豊かな社会を実現させるために、様々な「まちづくり」や「ひとづくり」の公益事業を実施しております。また、会員を対象とした毎月の例会では、様々なセミナー・講演会も実施しております。



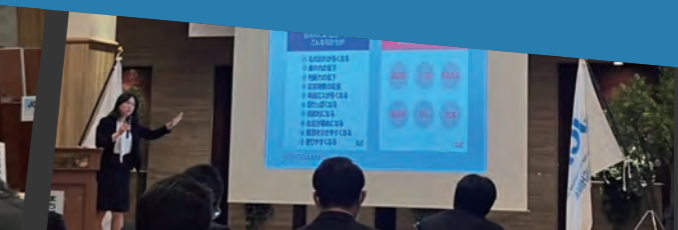
わらじ綱引き



暁まいり 福男福女競走



DXについて学ぶ例会



睡眠について学ぶ例会

まつり関連事業

福島市のシンボル信夫山で400有余年以上続く祭り「信夫三山暁まいり」。以前は10万人以上が参加する盛り上がりを見せていたが、戦後その参加者が減少し、現在ではその存在を知らない市民がいるほどに。「信夫三山暁まいり」を荒廃させないために、福島青年会議所が多くのの人々に興味をもっていただく事業を行うことで、その認知度を上げ、福島の再興の一助になるのではと考え、「福男福女競走」を企画しました。

福島わらじまつりは、8月の「まつり」に大わらじを奉納することにより、2月の「信夫三山暁まいり」に奉納された大わらじと合わせ一足として、より一層の健脚を祈願する行事として1970年に始められました。その後、健脚祈願と観客が一体となる賑わいを作りたいという思いから、1989年に初めて「わらじ競走」がわらじまつりに登場しました。現在は「わらじ競走」に代わり、「わらじ綱引き」を開催しております。



出張わらじづくり体験教室



オンライン「メタバース」講演会

その他の事業・交流・式典

公益社団法人福島青年会議所の毎月の例会では、メンバーの学びとなるテーマを設けて、社業・ビジネスにも活かせる様々なセミナーや講演会を開催しています。

また、福島県内で構成される福島ブロック協議会や東北6県で構成されている東北地区の式典や事業にも参加可能です。

その他にも、日本青年会議所が主管となり実施される「京都会議」や「サマーコンファレンス」、「全国大会」など各地の会員と交流することができます。

そして、福島青年会議所は相互間の親善と友好の為に、台湾のJCI南投と相互交流を行う姉妹JCの締結関係を結んでいます。